
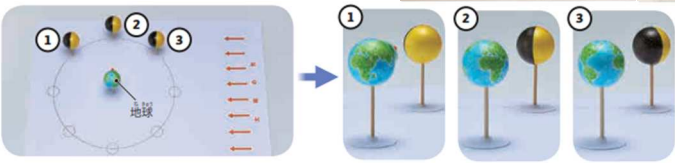


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

リモート学習でも実験や実習に参加できる ICT 活用 「書画カメラを利用した実習」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部3年
	障がい名等	肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級で、学年相応の学習を行っている。 ・空間認知が苦手な生徒もいる。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	理科
	単元(題材)名	単元名「地球と宇宙」月と金星の見える方
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>書画カメラを用いた月の見え方の確認。(タブレットでも可。書画カメラは固定であることが利点。) リモートで参加している生徒との内容の共有。</p>  
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉 ○地球から見た月の形がどうなっているかを、書画カメラの映像で平面的に見て捉える。</p> <p>〈工夫点〉 ・実物で見ると、立ち位置がずれると地球から見える月の形が異なって見えたり、空間認知が苦手な生徒が混乱しやすかったりするので、書画カメラを地球からの視線に合わせ、全員が同じ位置から月を見て、その形を平面で捉えることで、月の形が分かりやすいようにした。</p>
	材料・作成方法等	タブレット端末、書画カメラ、地球・月のモデル
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・月の形がとらえやすく、結果をスケッチする場面では、空間認知が苦手な生徒も、スムーズに記録することができた。 ・リモートで参加していた生徒も、地球と月の位置関係から月の形をとらえやすく、教室の生徒と同様に記録することができていた。 	